

「オホーツクの森づくり」 無事終了しました

森林ボランティア「オホーツクの会」主催による「オホーツクの森づくり」が9月14日(土)に「オホーツクの森」で行いました。なお、土曜日が休みの方は3連休の初日ということもあったのか、例年より、集まりが少なく、14名の方に参加していただきました。ただし、2～3日前までの天気予報では雨模様となっており心配していましたが、当日は曇りのち晴れと絶好の作業日和となりました。

さて、例年は自然再生モデル林内のカミネッコンによる植樹箇所の鹿防護柵修理を行っていましたが、近年、防護柵内で大きくなってきている植樹木もあるため、今回の作業では、樹高1m以上の植樹木がある箇所について初めて、パオパオシートを取り外して、日光に当てることとし、女竹を添え木として活用して、植栽木を直立させる作業も行いました。

最初に「森の家」の前で、「オホーツクの会」吉田事務局長から主催者挨拶があり、その後、3つの班に分かれて作業を行いました。去年は雨で中止となったため、久しぶりの作業ということで、最初、少し時間もかかっていましたが、徐々に慣れてくると、どんどん柵の修理や草刈りが進みました。さすがに、全部で200箇所以上もありますので、すべて対応はできませんでしたが、ほぼ、予定した箇所については対応することが出来ました。



午後は、作業疲れを癒やすため、森林浴を兼ねて、「森の家」の遊歩道を森林散策し、中には秋の味覚のお土産を見つけることが出来た方もいました。

今回は、初めて、鹿防護柵のパオパオシートを外す作業を行ったところですが、今冬を過ぎて、春に、はたして鹿の食害があるかどうか確認することが重要と考えております。



なお、今回の作業には網走からや日赤看護大学生も参加されました。本当にありがとうございました。また、参加者からは、知床での防鹿ネット巻きより大変だったとの感想も戴きましたが、来年度も、植栽木が今後どうなっていくのかを見届けて戴くためにも、ぜひ続けてのご参加をよろしくお願い申し上げます。

